

特集 電線共同溝設置工事ってなに？

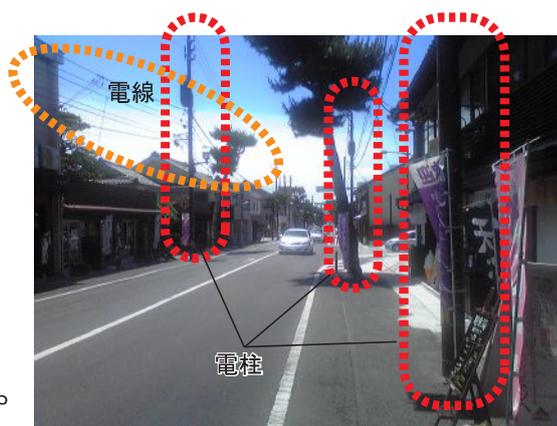
すっきりした景観、安全面でも向上

●電線共同溝とは？

- 電線共同溝とは地上にある電柱や電線を地下に収容するための施設です。
- 共同溝は主に「管路部」、「特殊部」、「引込管」などで構成されています。

●なぜ電線共同溝設置工事をするのか？

- 電線共同溝設置工事の目的は、すっきりと美しい都市景観をつくとともに、円滑な交通の確保、歩行者空間の確保、災害時の安全面向上などにあります。電線共同溝設置工事は、道路の構造や交通の状況、沿道の土地利用などを考慮して進められます。
- 神門通りにおける電線共同溝設置事業は、現在設置されている電柱、電線によって松並木と歴史的な町並みの景観を悪くしており、改善が必要であること、道路空間の中で歩行者の通行を阻害しており、可能な限りゆとりのある歩行空間を確保していきたいこと、そして地震や台風、積雪等により電柱電線の倒壊や断線等を防ぐこと、などを目的として実施するものです。



電柱、電線により景観を損ねている以前の神門通り



●工事の方法

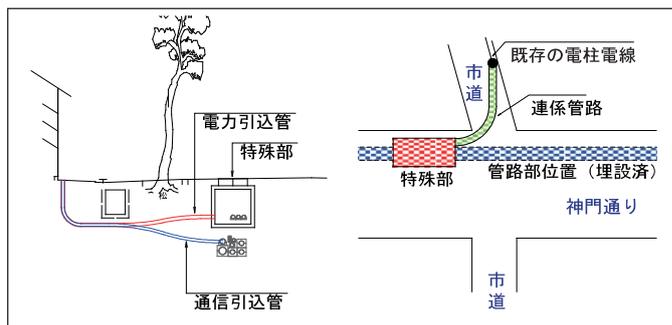
第1段階

- 管路部に併せて、「特殊部」と呼ばれるマンホールを埋設します。
- 特殊部とは、管路から各家庭へ電線類を引き込む際の分岐部分(接続部分)のマスなどのことを言います。



第2段階

- 「管路部」を埋設する工事を行います。
- 管路部とは、電線等の地下ケーブルを入れるための管のことを言います。



第3段階

- 最後に、各家庭に電線類を引き込む「引込管」や、近くの電柱へ接続するための「連係管」などを埋設する工事を行います。

神門通りPR館・ナビゲーター 日々雑感

- ご近所の70代女性が、出雲市在住のお友達の方をご案内して神門通りを歩いて散歩途中、PR館に寄って下さいました。近くでも神門通りを歩くことがなかなかないそうです。昔の写真を懐かしそうに見ていかれました。昔、歩けないくらいの人ごみの中、電車にも乗れなくて今市まで歩いて帰った思い出があるそうです。
- 大社高校の2年生生徒たちが大社町を知ろうという事で出雲大社へ。神門通りは高校生でにぎやかでした。地元の事を知るのは良いことですよね。
- カナダから年配のご夫婦が来られました。今回の日本旅行では、絶対出雲大社には来てみたかった！とのこと。『出雲ぜんざい』の由来をお話しさせていただきました。
- 愛知から婚活旅行中の男女若者6人が寄られました。（知らない同士で集まって、旅行中に恋愛に発展するのが目的？）ご縁が結ばれるといいですね・・・。
- 横浜からのご高齢の女性にしんみりしたお話を伺いました。48年前に二人だけで出雲大社で式を挙げ、ますや旅館に泊まったとが。金婚式を前にご主人が亡くなられたそうで、一人思い出をたどり、ますや旅館に泊まるそうです。



開館日：平成 23 年 7 月 20 日～平成 24 年 3 月 31 日 (予定)

※期間中、都合により PR 館をお休みする日もあります。

開館時間：平日 9 時～ 16 時 / 土・日・祝日 9 時～ 17 時

Ameba 神門通りPR館「ブログ」

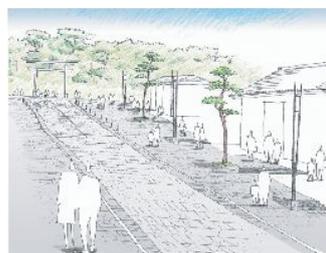
twitter 神門通りPR館「ツイッター」

本年度のスケジュール



出雲県土都市整備グループからのメッセージ

11月に入りましたが、天気の良い日はとても暖かく、雨の日は寒くなり、気温の変化について行くのが難しいと感じているこの頃です。さて、神門通りの工事ですが、坂道部より南側については、現在電線共同溝の工事を行っており、一畑電車の駅舎までの東側は工事を完了し、現在西側の工事をしているところです。また、坂道部については、東側、西側とも現在擁壁工事を行っています。神在月を迎え、観光客の方も増えてきますが、皆様には、工事へのご理解、ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくをお願いします。



坂道部整備イメージ



第3回ワークショップについて

12月10日（土）開催

時間：18：30～21：00

場所：大社文化プレイスうらら館

<テーマ>

- ・道路照明・坂道部のデザイン
- ・一畑電車「出雲大社前駅」に隣接するポケットパーク



日程が年末にずれこむことになり誠に申し訳ございませんでした。今回は最終のワークショップとなりますので、みなさまふるってご参加ください。



島根県出雲県土整備事務所 都市整備グループ
〒693-8511 島根県出雲市大津町1139
TEL：0853-30-5666 FAX：0853-30-5675